

ときめ**輝**びと

琴の音で 世界をつなぐ



撮影場所 レッスン室(小堀町)

まさこ
内藤 方子さん (小堀町)
琴演奏家



昨年開かれたコンサートの様子
(六本木で)

「琴との出会いは、幼少の頃に習い始めたのがきっかけで…」と話す内藤さん。礼儀や行儀作法を身につけるため、親の勧めで正派生田流の箏(そう)や三絃を弾き始めました。

以来稽古を重ね、家元直轄の正派音楽院を卒業。その後、中島靖子氏(二代家元)に師事し、研さんを続けました。

内藤さんは、邦楽を中心に伝統的な方法で奏でお琴を学んできましたが、いつしか「琴でいろんなジャンルの音楽を奏でたい」という思いを抱くようになり、著名な音楽家からジャズ理論を学んだり、多様な楽器の特性や琴とは異なるリズム感を身体で覚えるなど、新境地を開く努力を続けました。また、アジアの民族楽器演奏家らとセッションを行い、従来の琴とは明らかに異なるスタイルで琴の可能性を徐々に広げていきました。そして2000年、ドレミで弾ける画期的な琴、ドレミ・ポップコーン[現名称:

やさしいお琴 奏音(かのん)]を開発。内藤さんは、「単なる伝統回帰だと自分のやりたいことや成長がストップしてしまう気がした。琴をいろんな人に聞いてもらい、もっと自由に表現したかったから」と、当時を振り返ります。

こうした取組みは広がりをみせ、愛・地球博タイパピリオンでのコンサートやスイス・ベルギー・ドイツでの演奏会を行い、国内のみならず世界各国で称賛を浴びました。今年5月にはブラジル・サンパウロへ渡り、ブラジル滋賀県人会の式典で演奏やワークショップを行い、国と国、人と人を琴でつなぐ活動を行いました。

琴の音色や響きは外国人に珍しく聞かえ、「ピース(平和)な音がする」と絶賛する声も。ロサンゼルスでは、当地のブルースバンドに混ざり即興演奏で観客を沸かせたこともあり、海外での演奏を通して、改めて音楽の楽しさや日本の良さ、琴の素晴ら

しさを実感するそう。その反面、特にブラジル人などは自分が良いと思ったものはストレートに表現し、どんどん取り入れる開放的な気質に対し、日本人は固定観念や伝統に縛られ、従来のやり方や考えを変えることに躊躇する人が多く、国民性の違いを感じるそうです。「あるものをそのまま使うだけではなく、いいものはどんどん受け入れ、創造していくことが大事」と話します。

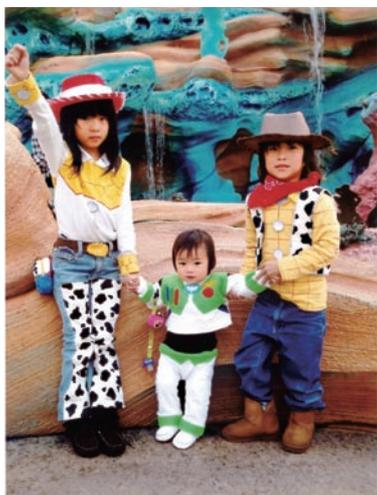
「音楽は言葉がなくても通じ合う。自分のめざしているものに終わりなんてない」と話す内藤さん。「人に教えるより自分が弾くのが好き。でも、魅力を伝えることもしていけたら」と、子どもたちの育成にも力を注ぎます。

琴を愛してやまない内藤さんは琴奏者「方子リラ」として活動しています。北天に輝く琴座(リラ)のごとく世界に確かな存在感を発揮し、これからも自分の信じる道を歩み続けます。

Smile Smile

※このコーナーでは、市内在住のお子さんたちの写真を掲載します。笑顔と元気あふれるお子さんたちの写真を募集しています。掲載を希望する人は市民広報室(☎65-6504)まで申込みください。

お外で遊ぶのが大好きな3姉弟。いつまでも仲よし3姉弟でいてね!!パパとママのところに生まれてきてくれてありがとう♡



堀江
零生くん (平成18年11月生まれ) 右
亜門ちゃん (平成24年9月生まれ) 中
夏鈴さん (平成17年8月生まれ) 左
(十里町)

藤井
沙藍ちゃん (平成23年12月生まれ)
(三ツ矢元町)



お人形遊びが好きななら♪お兄ちゃんのマネもよくするね☆お話ができるようになって毎日が楽しみだよ♡

まちの人口

平成25年11月1日現在 人口 123,010人 男 60,175人 女 62,835人 世帯数 44,387世帯
平成25年10月中の異動 転入 231人 転出 238人 出生 91人 死亡 106人 婚姻 61件



この印刷物は、有害な廃液を排出しない水なし印刷を採用しています。また、大豆油インキを包含した植物油インキと環境に配慮した再生紙を使用しています。

「広報ながはま」は、各自治会を通じてお届けすることを原則としていますが、市民交流センターや図書館、公民館など市の公共施設にも置いています。市のホームページでもご覧いただけます。点字広報、声の広報を作成していますので、ご希望の人は市民広報室まで。